

目次

1. 目的	1
2. テスト期間	1
3. アロエについて	2
4. テスト対象銘柄	3
5. 概要	5
6. テスト結果	6
1) バルバロイン量について	6
2) 衛生面について	7
3) 表示について	9
4) 内容量・価格について	13
7. 消費者へのアドバイス	15
8. 業界への要望	15
9. 行政への要望	16
10. テスト方法	17
11. 参考資料	19
参考資料1	19
参考資料2	25
参考資料3	26
参考資料4	27

1. 目的

アロエはアフリカ原産の植物で、古くより食品、医薬品の原料として用いられてきた。生理活性成分としては、下剤成分であるバルバロインが有名で、アロエを原料とした医薬品は、主に下剤として使用されている。なお、バルバロインは、葉の表面付近の緑の部分に多く含まれ、ゲル状の葉肉部分にはほとんど含まれていない。

アロエの種類は非常に多いが、中でもキダチアロエは日本では古くから親しまれており、「医者いらず」等とも呼ばれ、「自然治癒力を向上させる」、「整腸作用がある」などといわれている。キダチアロエは、我が国では効果を標ぼうしない限り葉全体を加工し食品として販売することが認められている。しかし、葉全体を食べた場合には、主に葉の表面付近に多く含まれるバルバロインも一緒に摂取することになる。

近年、キダチアロエを加工し、錠剤、飲料等の形にして食べやすくした商品が「いわゆる健康食品（以下「健康食品」とする）」※として販売されており、キダチアロエの成分をそのまま摂れることをうたっているものが多い。従って、これらにもバルバロインが含まれていると思われ、食べやすい形状のため生のキダチアロエを食べるよりもより多くの量のバルバロインを摂る可能性もある。

また、PIO-NET（全国消費生活情報ネットワーク・システム）における、健康食品による危害情報は、2000～2005年度で3,598件（2005年6月30日現在）寄せられており、アロエを使用した健康食品に関しては、「下痢が止まらない」や「アロエ入りのジュースを飲んだらお腹の調子が悪くなった」等の事例が寄せられている。

そこで、キダチアロエを使った「健康食品」について、通常の摂取目安量を摂ったときにどの程度バルバロインを摂取することになるのか、銘柄によりどの程度差があるのかなどを調べ情報提供する。

※：「いわゆる健康食品」とは、食品の中でも、厚生労働省の保健機能食品制度の下で一定の条件を満たすものとして販売を認めている保健機能食品以外の、一般に、「健康の保持増進に資する食品として販売・利用されるもの」を指す（下図参照）。必ずしも実際に効果があることを確かめられたものではない。

医薬品 (医薬部外品を含む)	保健機能食品		一般食品 (いわゆる健康食品を含む)
	栄養機能食品 (規格基準型)	特定保健用食品 (個別許可型)	

2. テスト期間

検体購入 : 2004年12月

テスト期間 : 2005年1月～5月

3. アロエについて

アロエは、アフリカ原産の多年生多肉植物で多くの種類がある。一般にはケープアロエ、アロエベラ、キダチアロエがよく知られている。ケープアロエは日本薬局方^{注1}で規定され下剤成分が多い種類、アロエベラは欧米由来で葉が大きく厚い種類、キダチアロエは日本でもよくみかける種類である。アロエは医薬品、食品、化粧品の分野で広く利用されている。

アロエベラ、ケープアロエの葉の液汁を濃縮し乾燥したものは、日本では医薬品に相当し下剤に用いられており、ドイツでもCommission E (ドイツの薬用植物の評価委員会) がアロエベラとケープアロエの使用を承認している。安全性については、長期間の多量摂取や12歳以下の小児の摂取、妊娠中・授乳中や月経時、腸の病気の場合、摂取には注意が必要であるとされている^{注2}。

一方、キダチアロエは、江戸時代に日本に渡来してきたといわれており、日本でも比較的古くから親しまれている。他のアロエと同様に葉の表面付近にバルバロインが含まれているが、習慣的に葉全体が食用とされており、葉の液汁も特に規制されていないため食品として流通している。

また、アロエの葉肉部分には、ほとんどバルバロインが含まれないため、葉が大きく、肉厚なアロエベラの葉肉は、ヨーグルトなどに使われるなど日本でも食用として広く使用されている。

注1：薬事法第41条により、医薬品の性状及び品質の適正を図るため、厚生労働大臣が薬事・食品衛生審議会の意見を聴いて定めた医薬品の規格基準書。2005年8月現在、第十四改正第二追補までが公示されている。

注2：アロエに関する効果や安全性の情報は、独立行政法人国立健康・栄養研究所ホームページの「健康食品」の安全性・有効性情報を参考にした。

表1. アロエの成分本質について

名称		専ら医薬品として使用される成分本質 (原材料)	医薬品の効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質 (原材料)	主な下剤成分
アロエ	アロエベラ、ケープアロエ	葉の液汁	根、葉肉	バルバロイン
	キダチアロエ	—	葉 (全体)	

※：薬事法では、成分本質 (原材料) は、「専ら医薬品として使用される成分本質 (原材料)」と、「医薬品の効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質 (原材料)」に分けられる。アロエベラ及びケープアロエは使用する部位によって、医薬品にしか使えない場合があるが、キダチアロエの場合は、全体が食品として扱われている。

表2. アロエの医薬品としての適用量に関する参考値

使用部位	国	参照文献	適用量
葉から得た液汁を乾燥したもの	日本	日本薬局方解説書 (14改正)	本品は換算した生薬の乾燥物に対し、バルバロイン4.0%以上を含む。緩下薬として、粉末を1回0.125~0.25g、1日1~3回服用する。
乾燥物 (葉から得た液汁を乾燥したもの)	ドイツ	Commission E Monographs	キュラソー (バルバドス) アロエまたは、ケープアロエの液汁の乾燥物や水、水-アルコールの抽出物の粉末または液を経口で用いる。便秘に無水アロイン (バルバロイン) として、1日当たり20~30mg。

※：バルバロインはアロインと呼ばれることもある。なお、アロインとは、正しくは、アロエからカルシウム塩を経て得られる黄色粉末のことを指し、主成分であるバルバロインのほかバルバロインの配糖体等も含む。

また、アロエベラはキュラソーアロエ、バルバドスアロエと呼ばれることもある。なお、ケープ、キュラソー、バルバドスなどは、アロエが生産されている地名に由来した名である。

4. テスト対象銘柄

神奈川県相模原市内及び通信販売で入手したキダチアロエを使用（原材料植物としてキダチアロエのみが表記されている）した錠剤 11 銘柄、飲料 6 銘柄の計 17 銘柄をテスト対象とした。また、参考品としてアロエベラを使用した飲料 3 銘柄とアロエ（ケーブアロエ）を使用した医薬品（錠剤）2 銘柄を加えてテストした。

表 3. テスト対象銘柄一覧

区分	No.	銘柄名	販売者、発売元、製造者、製造元もしくは輸入者	内容量	購入価格 (円：税込み)	
錠 剤	1	キダチアロエ	井藤漢方製薬(株)	45g (250mg×180粒)	924	
	2	キダチアロエ緑力粒	(株)ウエルネスジャパン	52.5g (250mg×210粒)	999	
	3	キダチアロエ生薬粒	オリヒロ(株)	90g (約360粒/1粒250mg)	1,659	
	4	キダチアロエ粒 ☆	(株)サプリックス	30g (約250mg×120粒)	1,344	
	5	キダチアロエエキス ☆	(株)ディーエイチシー	19.2g [1粒重量320mg (1粒内容量200mg)×60粒]	955	
	6	天然効果キダチアロエ	ハウス食品(株)	37.5g (約150粒)	1,550	
	7	キダチアロエ粒 ☆	(株)ファイン	60g (250mg×約240粒)	1,399	
	8	キダチアロエ	(株)ファンケル	36g (240mg×約150粒)	1,260	
	9	キダチアロエエキス粒	メイワ薬粧(株)	37.5g (250mg×150粒)	1,299	
	10	山本漢方の キダチアロエ粒100% ☆	山本漢方製薬(株)	70g (250mg×280粒)	1,344	
	11	アロエマイルド	ユリカ(株)	40g (約133mg×300粒)	2,079	
飲 料	12	キダチアロエ原液100	(株)ウエルネスジャパン	720ml	1,680	
	13	キリン 四万十キダチアロエ	キリン ウェルフーズ(株)	720ml	1,874	
	14	キダチアロエエキス	(株)ケイセイ	500ml	1,980	
	15	キダチアロエファインエキス	(株)平田農園	500ml	2,625	
	16	アロエエキスロイヤル	マンナンフーズ(株)	720ml	1,869	
	17	新鮮生葉一番搾り ☆	メイワ薬粧(株)	720ml	1,974	
	18	ア ロ エ ベ ラ (参考品)	新鮮搾り アロエベラドリンク	オリヒロ(株)	500ml	2,079
	19		アロエベラ・ゲル100	(株)コーワリミテッド	900g	2,600
	20		アロエベラ	(株)ディーエイチシー	720ml	1,470
(医 薬 品)	A	本草アロエ錠	本草製薬(株)	120錠	1,575	
	B	アロエ錠「MY」	発売元：(株)ヤクルト本社 製造元：松本製薬工業(株)	100錠	1,399	

☆マークは、テストした商品と 2005 年 7 月現在販売されている商品とで表示が異なるもの。

※：購入価格は、2005 年 7 月に店頭もしくは通信販売における購入価格を調査した時のものを記載した。

※：このテスト結果は、テストのために購入した商品のみに関するものである。

表4. 1日の摂取目安量とキダチアロエの含量に関する表示

区分	No.	1日の摂取目安量 (表示より) 注1		キダチアロエ粉末含量		キダチアロエエキス含量			
		最小	最大	表示	単位量 当たり	表示	単位量 当たり		
錠	1	6粒	12粒	1日当たり キダチアロエ末 900mg	300mg/g	なし	なし		
		1.50g	3.00g						
	2	7粒	14粒	14粒当たり キダチアロエ末 1050mg	300mg/g				
		1.75g	3.50g						
	3	8粒	12粒	製品12粒中伊豆産 キダチアロエ末 1500mg	500mg/g				
		2.00g	3.00g						
	4	2粒	6粒	なし	なし				
		0.50g	1.50g						
	5	なし	2粒	なし	なし			1粒あたり キダチ アロエエキス末 (8倍 濃縮) 50mg	156.25mg/g
			0.64g						
	6	3粒	5粒	5粒でキダチアロエ 粉末 625mg	500mg/g				
0.75g		1.25g							
7	なし	16粒	16粒あたりキダチ アロエ末 1400mg	350mg/g					
		4.00g							
8	3粒	5粒	1日の目安：3～5粒 キダチアロエ粉末… 576～960mg	800mg/g	1日の目安：3～5粒 キダチアロエエキス …118.8～198mg	165mg/g 注2 (キダチアロエ 粉末換算329mg)			
	0.72g	1.20g							
9	3粒	6粒	なし	なし					
	0.75g	1.50g							
10	なし	9粒	なし	なし					
		2.25g							
11	15粒	20粒	キダチアロエ粉末 130～135mg/粒	1000mg/g					
	2.00g	2.66g							
飲料	12	25cc	60cc	なし	なし	なし	なし		
	13	20ml	40ml			20ml当たりキダチア ロエエキス 20ml	1ml/ml		
	14	15ml	40ml			なし	なし		
	15	15ml	40ml						
	16	15ml	40ml						
	17	なし	30ml						
	(ア 参考 エベ ラ)	18 注3	50ml					100ml	(製品100ml中アロエベ ラ薬肉エキス 90ml)
19		50cc	100cc	なし	なし				
20		30ml	60ml						
(医 参考 薬 品) 品	A 注3	3錠	5錠	(5錠中 日本薬局方 アロエ末 375mg)	(250mg/g)	なし	なし		
		0.90g	1.50g						
	B 注3	3錠	6錠	(6錠中 アロエ末 750mg)	(357mg/g)				
		1.05g	2.10g						

注1：1日の摂取目安量のグラム数は、表示より算出したもの。なお、Aのみ1粒当たりの重量表示がなかったため実測値である。

注2：No. 8の「キダチアロエエキス」は、別途表示で「1粒中39.6mg (キダチアロエ粉末換算 79mg)」という記載があった。

そこで、単位量当たりの括弧内のキダチアロエ粉末量換算は、この値を基にキダチアロエエキス量より算出した。

注3：アロエベラを使用した飲料の1銘柄と医薬品2銘柄の原料はキダチアロエではないが、エキス量及び粉末量の表示があったため括弧書きで記載した。

5. 概要

キダチアロエを使った「健康食品」17 銘柄について、バルバロインの量、衛生面、表示などを中心にテストを行い、これらを利用した際にキダチアロエに含まれる下剤成分であるバルバロインを多量に摂ってしまう可能性がないかを調べた。

1) バルバロイン量について

●バルバロイン量は銘柄ごとの差が非常に大きいが、1 日当たりで摂取する量は錠剤より飲料の方が多い傾向にあり、下剤成分としての生理作用を及ぼす可能性があると思われた

キダチアロエに含まれる下剤成分であるバルバロインの量は、錠剤では特に銘柄により大きな差があった。また、1 日の摂取目安量に含まれる量でみると、飲料の方がより多くのバルバロインを摂ってしまう可能性がある他、摂取するバルバロインの量が生理作用を及ぼす可能性があると思われる銘柄もあった。さらに、飲料では、1 日の最大摂取目安量を摂取した場合には、市販の医薬品で摂取する量とほぼ同等（最小服用量時）となる銘柄もあった。

2) 衛生面について

●微生物面で特に問題となる銘柄はなかったが、開封後の保存には注意が必要

錠剤について、その一般細菌数と大腸菌群について調べた。その結果一部の銘柄で 1g 当たり数百～千個程度の細菌が検出されたものはあったが、大腸菌群は、全ての銘柄で陰性であり、衛生的に保存する限り、特に問題とはならないと思われた。ただし、高温多湿な環境に置くと爆発的に細菌が増殖する可能性もあるので、開封後の保存には十分注意した方がよい。

●光過敏症の原因となるフェオホルバイドの量が特に問題となる銘柄はなかったが、保存時は高温多湿なところを避けた方がよい

緑の濃い植物では、その葉緑素が分解し、光過敏症の原因となるフェオホルバイドを生成することがある。テスト対象銘柄からもわずかに検出されたが、保存に注意すれば特に問題となる量ではなかった。ただし、保存状態が悪いと増える可能性もあるので、高温多湿なところを避けて保存するなどの注意が必要である。

3) 表示について

●キダチアロエ粉末量の表示のある銘柄は多いが、その中に含まれるキダチアロエ特有の成分の濃度は銘柄により差が大きく、粉末量の表示はキダチアロエの成分含量の目安にはならない

錠剤には、原材料のキダチアロエ粉末の量を表示してあるものもあるが、キダチアロエ粉末中のキダチアロエに特有の成分であるアロエニンの濃度は、銘柄間で約 7 倍の差があり、粉末の量の表示は、キダチアロエ由来の成分の量を推測する目安にはなっていなかった。

●お腹が緩くなる可能性があることへの注意は、3 分の 1 の銘柄で見られなかった

下剤成分のバルバロインを含有していることから、過剰に摂取した場合にお腹が緩くなる可能性があるため、注意表示が必要と思われる商品群であるが、約 3 分の 1 の銘柄でお腹が緩くなる可能性がある等の注意表示が記載されていなかった。

●無農薬をうたう銘柄が約半数あったが、これらの表示は商品に対する誤ったイメージを与えかねない

農林水産省の定めた特別栽培農産物に係る表示ガイドラインにより、農産物では使用できない表現である「無農薬」をうたったものがテスト対象銘柄の約半数で見られた。今回テスト対象としたような農産物を加工した食品の表示においても、農産物と同様に扱われるのが望ましいと考える。

6. テスト結果

1) バルバロイン量について

銘柄ごとの差が非常に大きいが、1日当たりに摂る量は錠剤より飲料の方が多い傾向にあり、下剤成分としての生理作用を及ぼす可能性があると思われた

キダチアロエに含まれる下剤成分であるバルバロインが、テスト対象銘柄にどの程度含まれているかを調べた (図1)。

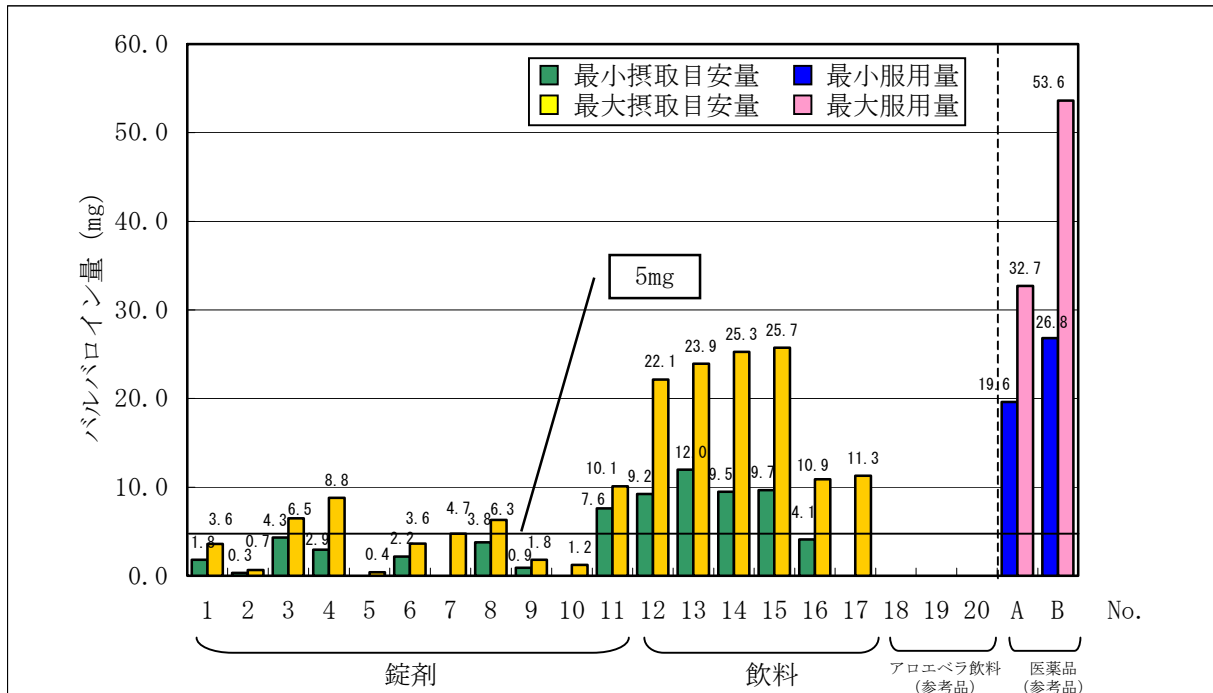


図1. 錠剤・飲料から1日当たりに摂るバルバロイン量

5mg: バルバロインが生理作用を及ぼす可能性があると思われる量。日本薬局方のアロエ (キダチアロエではない: 液汁の乾燥物で、生薬の乾燥物に4%以上のバルバロインを含むことが規定されている) を適用される最小量 (0.125g: 日本薬局方解説書より) 服用した際に摂取される量を試算した値。なお、ここでは、局方アロエ (液汁の乾燥物) と生薬の乾燥物をほぼ同等とみなして計算した。

※: 最小摂取目安量の表示のない銘柄 (5、7、10及び17) は、グラフ上の最小摂取目安量当たりの結果を省略した。また、参考品18~20はバルバロインがほとんど検出されなかったため、数値を記載しなかった。

商品に記載してある1日の摂取目安量に含まれるバルバロイン量 (最大量) は、錠剤では0.4~10.1mg/日と銘柄による差が大きかった。また、飲料では、10.9~25.7mg/日となっており、錠剤より飲料の方が1日当たりに摂るバルバロイン量が格段に多かった。

日本薬局方のアロエ (主にケープアロエ。キダチアロエではない) では、4%以上のバルバロインを含み、これを最小で0.125g処方すること (日本薬局方解説書より) になっており、これから計算すると、バルバロイン5mg程度で下剤成分としての生理作用を及ぼす可能性がある (表2参照)。これを参考とすると、飲料の全て、及び錠剤の半数近くの銘柄が1日の摂取目安量で5mg以上のバルバロインを摂ることとなり、生理作用を及ぼす可能性があると思われる。

一方、アロエベラを原料とした参考品の飲料 3 銘柄からは、バルバロインはほとんど検出されなかった。これは、バルバロインが多く含まれるといわれる葉の表面部分を完全に取り除く等、製造工程でバルバロインが入らないようにしているためと思われる。

また、参考品の医薬品は、1日当たりの服用量（医薬品の場合、摂取する量のことを「服用量」という）で、参考品 A では 19.6～32.7mg/日、参考品 B では 26.8～53.6mg/日程度のバルバロインが含まれていた。飲料の 4 銘柄（12、13、14、15）は、最大 1 日の摂取目安量を飲むと医薬品の最小服用量を飲んだときとほぼ同量のバルバロインを摂ることになるが、これは、ドイツなどでは、医薬品の規定量（バルバロイン 20～30mg）にほぼ相当する量であるといえる（表 2 参照）。

2) 衛生面について

(1) 微生物について

特に問題となる銘柄はなかったが、開封後の保存には注意が必要

錠剤について、しばしば食品の衛生面の指標とされる一般細菌数と大腸菌群について調べた（表 5）。

表 5. 錠剤中の一般細菌数及び大腸菌群

No.	一般細菌数 (個/g)	大腸菌群	No.	一般細菌数 (個/g)	大腸菌群
1	300以下	陰性	7	300以下	陰性
2	300以下	陰性	8	300以下	陰性
3	300以下	陰性	9	300以下	陰性
4	300以下	陰性	10	1.4×10^3	陰性
5	300以下	陰性	11	7.7×10^2	陰性
6	300以下	陰性			

※：1g当たり300個以下の場合は、非常に少数であり、実験誤差と区別が付かないことから、コロニー数を計測せず、一律300以下と表記した。

※：（財）日本健康・栄養食品協会のキダチアロエ食品の自主規格・基準には一般細菌数 3×10^3 個/g以下、大腸菌群 陰性 という規格がある。

その結果、一部の銘柄で一般細菌数が 1g 当たり数百～千個程度のものはあったが、十分に乾燥した環境で衛生的に保存する限り、特に問題とはならないと思われる。また、大腸菌群は、全ての銘柄で陰性であった。ただし、高温多湿などの保存に適さない環境に置かれると、細菌が爆発的に増殖する可能性もあるので、開封後の保存には十分注意した方がよい。

なお、キダチアロエを使った食品に対する微生物の基準については、食品衛生法では具体的な基準がないが、業界団体の自主規格には一般細菌数 3×10^3 個/g以下、大腸菌群陰性という基準がある。その数値を参考とすると、今回のテスト対象銘柄で超えたものはなかった。

(2) 異物について

飲料で原料由来の沈殿物が見られた

飲料について目視で異物を確認したところ、全ての銘柄で繊維状の細かい沈殿が見られたが、原材料由来のものであり、昆虫や鉱物のような異物は認められなかった。

(3) フェオホルバイド

光過敏症の原因となるフェオホルバイドの量が特に問題となる銘柄はなかったが、保存時は高温多湿なところを避けるなどの注意が必要

緑の濃い植物では、その葉緑素が分解されて、光過敏症の原因となるフェオホルバイドを生成することがあり、クロレラ食品では、食品衛生法でその含量が制限されている^{*}。キダチアロエを使った食品では、法律に基づく規格・基準はないが、フェオホルバイドが生成される可能性がある。そこで、テスト対象銘柄中のフェオホルバイドの量を測定した(表6)。

^{*}：クロレラを使った加工品の基準では「既存フェオホルバイド量が 100mg%をこえ、又は、総フェオホルバイド量(既存フェオホルバイド量とクロロフィル活性度の和をいう。)が 160mg%をこえるものであってはならない。」とされている。mg%は 100g当たりのmgのこと。クロレラ等のフェオホルバイド量を表す単位として使用されている。なお、本文で言うフェオホルバイドは、既存フェオホルバイドのことを指している。既存フェオホルバイドとは、フェオホルバイドaとピロフェオホルバイドaの総称である。(昭和 56 年 5 月 8 日環食第 99 号「フェオホルバイド等クロロフィル分解物を含有するクロレラによる衛生上の危害防止について」より)

表6. 錠剤・飲料中のフェオホルバイド量

区分	No.	製品中の含量 (mg%)	区分	No.	製品中の含量 (mg%)
錠剤	1	4	錠剤	10	4
	2	1		11	7
	3	4		飲料	12
	4	24	13		ND
	5	1	14		ND
	6	2	15		ND
	7	2	16		ND
	8	9	17		ND
	9	4			

ND：定量下限以下(錠剤1mg%未満、飲料0.1mg%未満)

^{*}：ここでいうフェオホルバイドはフェオホルバイドaとピロフェオホルバイドaを合わせたもの(既存フェオホルバイド)のことを指している。

^{*}：(財)日本健康・栄養食品協会のキダチアロエ食品の自主基準におけるフェオホルバイド(既存フェオホルバイド)の規格は、固形状：30mg%未満、液状：10mg%未満である。

その結果、錠剤ではフェオホルバイドが 1~24mg%検出されたが、飲料からはほとんど検出されなかった。なお、業界団体の自主規格には固形状 30mg%、液状 10mg%の基準があるが、この値を超える銘柄はなかった。

衛生上特に問題となる量ではないが、錠剤ではわずかに検出されたため、開封後は早めに食べきり、高温多湿なところでの保存は避けるなどの注意をする必要がある。

3) 表示について

(1) キダチアロエ粉末量の表示について

キダチアロエ粉末量の表示のある銘柄は多いが、その中に含まれるキダチアロエ特有の成分の濃度は銘柄により差が大きく、粉末量の表示はキダチアロエの成分含量の目安にはならない

テスト対象銘柄には、キダチアロエ粉末（表示ではキダチアロエ粉末と記載してある銘柄とキダチアロエ末と記載してある銘柄があったが、以降、本文中では両方ともキダチアロエ粉末と呼ぶこととする）の量が、錠剤の7銘柄（1、2、3、6、7、8及び11：表4参照）に記載されていた。そこで、これらの表示が、実際に摂取できるキダチアロエの成分量を推測するために参考となるか調べるために、キダチアロエ特有の成分であるアロエニン^{注1}を定量し、キダチアロエ粉末量との比較を行った。

また、キダチアロエを使った食品については、業界団体がキダチアロエに特有の成分であるアロエニンの原材料中の濃度を自主規格[※]で決めているので、それとの比較も行った。

※：(財)日本健康・栄養食品協会の「キダチアロエ食品」の自主規格によれば、キダチアロエ食品に使用されるキダチアロエ粉末のアロエニン含量は10mg/g以上、キダチアロエ液汁は0.8mg/g以上とされている。また、「キダチアロエ粉末とは、キダチアロエの葉状部位を乾燥させて粉末化したものをいう。」「キダチアロエ液汁とは、キダチアロエの葉状部位を搾汁、ろ過したものをいう。」とされている。なお、今回テスト対象銘柄で、業界団体の認証を取っているものは錠剤の銘柄8のみであった。

表7. キダチアロエ粉末中のアロエニン濃度

区分	No.	キダチアロエ粉末中のアロエニン濃度 (mg/g) ^{注1}
錠剤	1	11.4
	2	1.9
	3	11.8
	5	11.8(エキス末) ^{注2}
	6	13.2
	7	9.2
	8	11.0 ^{注3}
飲料	11	7.8
	13	1.3 ^{注4}

注1：製品中のアロエニンが全てキダチアロエ粉末に由来するものとして、表示上のキダチアロエ粉末量より算出した。

注2：No. 5はキダチアロエエキス末量の表示があったため、キダチアロエエキス末の単位量（1g）当たりのmgを算出し記載した。

注3：No. 8はキダチアロエ粉末量とキダチアロエエキス量の表示があったが、エキス量は粉末量に換算して計算した。（表4参照）

注4：「キダチアロエエキス」の表示があったため、キダチアロエエキスの単位量（1ml）当たりのmgを算出し記載した。

まず、テスト対象銘柄の製品中のアロエニン含量を定量したところ、錠剤では 0.6～17.9mg/g、飲料では 0.7～1.3mg/g と銘柄間で差が大きかった。また、製品中のアロエニン含量とバルバロイン含量には、比例関係が見られ（相関係数=0.9587）、アロエニンの多い銘柄は、バルバロインも多かった。

次に、製品中のアロエニンが全てキダチアロエ粉末に由来すると仮定して、キダチアロエ粉末中のアロエニン濃度を比較した（表7）。その結果、キダチアロエ粉末のアロエニン濃度は 1.9～13.2mg/g と大きな幅があり、表示されているキダチアロエ粉末量が多くても、アロエニン濃度が高いものが使用されているわけではなかった。また、業界団体の自主規格（キダチアロエ粉末のアロエニン含量は 10mg/g 以上）を参考にすると、銘柄 2、7 及び 11 の 3 銘柄は、これを下回るキダチアロエ粉末が使用されていると思われた。

また、飲料では、キダチアロエを 100%使用していることをうたった表示が 6 銘柄中 5 銘柄（17 以外全て）に見られたが、アロエニン濃度は銘柄間で 0.7～1.3 mg/g と 2 倍近い差があった。

なお、参考品であるアロエベラを使用した飲料と、医薬品からは、アロエニンは検出されなかった。これら参考品にはキダチアロエは混ざっていないといえる。

以上のことより、キダチアロエ粉末量の表示は、その中のアロエニンの濃度が銘柄によりまちまちであることから、キダチアロエ由来の成分がどの程度の濃さで入っているかを推測する目安にはなっていなかった。

（2） 効能効果・摂取時の注意等に関する表示について

お腹が緩くなる可能性があることへの注意は、3分の1の銘柄で見られなかった

2005年5月現在、キダチアロエを使った商品で特定保健用食品の許可・承認を受けたものはなく、公的な審査を受けてキダチアロエの成分の効果をうたった商品はない。今回テストした銘柄では、アロエの効果について記載してある銘柄が、錠剤では 6 銘柄（1、2、3、5、7 及び 11）、飲料では 3 銘柄（12、13 及び 16）に見られた。その表現は「古くから人々の健康維持に幅広く利用されている（銘柄 3）」など、抽象的な表現ではあるが、健康によいという印象を与えるものが多かった（参考資料1 参照）。なお、明確な効能効果をうたう表現は見られなかった。

また、「量が過ぎますとお腹がゆるくなる場合があります（銘柄 4）」等のお腹が緩くなることに対する注意を喚起する表示は、錠剤 6 銘柄（3、4、6、7、8 及び 11）、飲料 4 銘柄（13、14、15 及び 17）に見られたが、3分の1の銘柄にはなかった。なお、直接的な便通や下剤成分に関する効能効果の表示はなかった（表8）。

摂取する際の注意表示について、項目ごとに表9にまとめた。内容としては、「まれに体質に合わないこともありますので、その際にご使用を一時中止して下さい。（銘柄 2）」のように体質・体調に合わないときの対処についての表示が約 8 割に見られた。また、「生理、妊娠中はご使用を中止してください。（銘柄 10）」等の生理・妊産婦・授乳時に関する注意表示が、錠剤では約半分の銘柄（3、6、7、8 及び 10）に飲料では銘

柄 13 にしか見られなかった。さらに「お子様はお召し上がりにならないでください。
 (銘柄 8)」のような乳幼児・小児・子供に対する注意表示は錠剤 3 銘柄 (3、6、8)
 にしか見られなかった。

表 8. お腹が緩くなることに関する主な注意表示一覧

区分	No.	お腹が緩くなることに関する主な注意表示 (抜粋)
錠 剤	3	本品をご利用後、便が緩くなる場合があります。胃腸の弱い方、妊産婦、お子様はご利用を控えてください。
	4	量が過ぎますとお腹がゆるくなる場合がありますので、その場合には量を減らしてください。
	6	摂りすぎるとお腹がゆるくなる場合があります。
	7	体調などによりお腹がゆるくなる場合がありますので初めは少量からのご利用をおすすめします。
剤	8	原材料をご参照の上、食品アレルギーのある方はお召し上がりにならないでください。また、体質や体調によりまれに下痢などの症状が出る場合があります。その場合は摂取を中止し、お客様相談室にご相談ください。
	11	人によっては、便がすぎる場合があります。そのときは、量を減らしたりして調節してください。
飲 料	13	体調やお召し上がりいただく量によって、お腹がゆるくなる場合がありますが、その場合は量をお控えください。また、目安量を超えて大量に摂取することはお避けください。
	14	摂取量が多すぎますとお腹がゆるくなる場合がありますが、その時は摂取を中止してください。また万一、身体に異常が認められたときは、医師に相談してください。
	15	摂取量が多すぎますとお腹がゆるくなる場合がありますが、その時は摂取を中止してください。また万一、身体に異常が認められた時は、医師に相談して下さい。
	17	お飲みになる量が過ぎますと、おなかをゆるめることもありますので、その場合量を減らしたり、水で割って数回に分けてお飲み下さい。

表 9. 摂取する際の注意表示 (銘柄数)

	お腹が緩くなる	体質に合わないとき	多量摂取	生理・妊産婦・授乳時	乳幼児・小児・子供	アレルギー関連	その他
錠剤 (全11銘柄)	6	8	6	5	3	5	5
飲料 (全6銘柄)	4	5	4	1	0	0	1

(3) 品質等に関する表示について

無農薬をうたう銘柄が約半数あったが、これらの表示は商品に対する誤ったイメージを与えかねない (参考資料 2 参照)

無農薬をうたった銘柄が、錠剤で6銘柄 (2、3、4、6、7及び11)、飲料で3銘柄 (12、13及び16) あった。農産物の表示については「特別栽培農産物に係る表示ガイドライン」が1992年に制定されており、「無農薬」や「無化学肥料」といった表現は優良誤認※を招く表示として使用できなくなっている。このガイドラインは、農産物を使用した食品の表示まで規制するものではないが、農産物を使用した食品もガイドラインに準じた表示に変更することが望ましいと考える。

※: 「無農薬」の表示は、生産者側は「生産過程等において農薬を使用しない栽培方法により生産された農産物」のことを指していたが、消費者が受け取るイメージは「土壌に残留した農薬や周辺ほ場から飛散した農薬を含め、一切の残留農薬を含まない農産物」と受け取られており、優良誤認を招いていた。これらの理由により、農産物には「無農薬」と表示してはならない。(平成15年11月「特別栽培農産物に係る表示ガイドラインQ&A」より)

飲料の2銘柄(14及び15)には原材料に有機キダチアロエと記載されており、有機JASマーク(原材料である有機農産物の持つ特性が製造又は加工の過程において保持されることを旨とし、化学的に合成された食品添加物及び薬剤の使用を避けることを基本として製造された加工食品に与えられる認証)が付されていた。また、銘柄13は原材料に「有機キダチアロエ(100%)」と表示されており、有機JASマークは付されていなかった。これは、「加工食品品質表示基準」に従い※、原材料が有機農産物のJAS規格の認証を受けていることを示している。

※:「加工食品品質表示基準」により、有機農産物を使用するなど原材料が特色のあるものである旨を表示する場合にあっては、その割合を当該表示に近接した箇所又は原材料名の次に括弧を付して記載することになっている。

添加物不使用に関する表示は、錠剤で4銘柄(3、4、6及び8)、飲料で4銘柄(12、13、16及び17)あった。なお、食品衛生法では、添加物を使用した場合には必ず明記されることになっており、原材料表示を見ればわかるため、とりわけ別に記載しなくてもよい。

(4) 名称について

一部の銘柄の名称等にやや紛らわしい表現が見られる(参考資料3 参照)

加工食品は、JAS法に基づく加工食品品質表示基準により名称、原材料名、内容量、賞味期限、保存方法、製造業者名又は輸入業者名、輸入品にあっては原産国名を一括

表10. テスト対象銘柄の名称等一覧

区分	No.	記載されている名称	他の表示 (一括表示の欄外にあるもの)	区分	No.	記載されている名称	他の表示 (一括表示の欄外にあるもの)
錠 剤	1	キダチアロエ加工食品	健康補助食品	錠 剤	10	キダチアロエ含有加工食品	食品 栄養補助食品 注1、注3
	2	キダチアロエ加工食品	美容健康食品 注1		11	キダチアロエ食品	高付加価値食品 注1 高付加価値栄養補助食品
	3	キダチアロエ加工食品	健康補助食品	飲 料	12	清涼飲料水	
	4	キダチアロエ加工食品	キダチアロエ葉加工食品 栄養補助食品 注1、注3		13	キダチアロエエキス (清涼飲料水)	
	5	キダチアロエエキス加工食品	健康食品		14	有機キダチアロエエキス ・清涼飲料水	有機JASマーク
	6	キダチアロエ加工食品	栄養補助食品		15	有機キダチアロエエキス ・清涼飲料水	有機JASマーク
	7	キダチアロエ含有加工食品	栄養補助食品		16	キダチアロエエキス	健康補助飲料 注1
	8	キダチアロエ食品	健康補助食品 JHFAマーク 注2		17	清涼飲料水	キダチアロエエキス液
	9	キダチアロエ加工食品	食品				

注1: 商品の説明文中でその呼び方が使用されている銘柄

注2: JHFA=(財)日本健康・栄養食品協会の認証マーク

注3: 2005年7月現在販売されている商品とは表示が異なる銘柄

※: (財)日本健康・栄養食品協会の「キダチアロエ食品」の規格基準における製品の定義は次の通り。

「キダチアロエ加工食品」: 「キダチアロエ加工食品」とは、キダチアロエ粉末を80%以上含む食品、又はキダチアロエ液汁末を20%以上含む食品をいう。

「キダチアロエ含有食品」: 「キダチアロエ含有食品」とは、キダチアロエ粉末を50%以上80%未満含む食品、又はキダチアロエ液汁末を12.5%以上20%未満含む食品をいう。

「キダチアロエエキス加工食品」: 「キダチアロエエキス加工食品」とは、キダチアロエ液汁を95%以上含む飲料をいう。

「キダチアロエエキス含有食品」: 「キダチアロエエキス含有食品」とは、キダチアロエ液汁を50%以上95%未満含む飲料をいう。

※: (財)日本健康・栄養食品協会の「キダチアロエ食品」の規格基準における原材料規格は次の通り(抜粋)。

キダチアロエ粉末のアロエニン含有量は10mg/g以上であり、キダチアロエ液汁のアロエニン含有量は0.8mg/g以上であること。

また、キダチアロエ液汁末のアロエニン含有量は40mg/g以上であること。

表示することが義務付けられている。この中で、「名称」は、その内容を表す一般的な名称を記載することとなっている。

錠剤の一括表示にある「名称」は、銘柄により「キダチアロエ加工食品（銘柄1、2、3、4、6及び9）」や「キダチアロエエキス加工食品（銘柄5）」など様々であった（表10）。業界団体の自主規格には、名称区分とそれに応じたキダチアロエの原材料の含量に関する定義がある。対象銘柄は、業界団体の自主規格を参考にすると、キダチアロエ液汁を95%以上含む飲料のことを示す「キダチアロエエキス加工食品（銘柄5）」が錠剤に使用されているなど、製品の性質を誤認してしまう可能性がある。

また、一括表示の欄外ではあるが、「健康補助食品（銘柄1及び3）」や「高付加価値栄養補助食品（銘柄11）」のような他の食品との差別化を図る表現が多くの銘柄で見られた。これらの表現は、個別に許可・承認を受けた「特定保健用食品」や一定の規格基準を満たした「栄養機能食品」とは異なり、法律に従って表示されたものではなく、メーカーが自主的に表示しているものである。

なお、飲料では、「キダチアロエエキス（銘柄13、14、15及び16）」という「名称」が多く見られた。銘柄13、14及び15では、これに「清涼飲料水」と併記されていたが、食品衛生法における分類では銘柄16も同様に「清涼飲料水」にあたる。

4) 内容量・価格について

最大1日の摂取目安量当たりの費用を比べると飲料の方が高く、使いきりまでの日数も短いものが多かった

キダチアロエを使った錠剤及び飲料の購入価格と内容量の関係を表11に示す。

内容量については、全量は全ての銘柄に見られたが、錠剤では、1粒当たりの重量も記載してあるものが10銘柄あった（6以外全て：表3参照）。また、飲料では、全ての銘柄に計量カップがついていた（参考品除く）。

購入価格についてみると、1パッケージ当たりの価格は、錠剤では924～2,079円、飲料では1,680～2,625円と銘柄間でそれぞれ2.3倍及び1.6倍の差があった。また、最大1日の摂取目安量当たりの費用を比べると、錠剤では、31.8～138.6円（平均63.9円）、飲料では、キダチアロエ使用の銘柄のみだと82.3～210.0円（平均133.1円）で、飲料の方が比較的高い傾向にあった。

また、使いきりまでの日数は、1日の最大摂取目安量を摂取し続けたとすると、錠剤では15～約31日（平均23.3日）、飲料では12～24日（平均16.0日）と飲料の方が短めの銘柄が多かった。

以上より、毎日摂取するとすれば、飲料の方が費用はやや高めになるといえる。

表 1 1. 錠剤・飲料の購入価格と内容量

区分	No.	内容量	購入価格 (円：税込み)	1日の最大摂取目 安量当たりの費 用 (円：税込み)	1パッケージの使い きりまでの日数 (日：最短)	
錠 剤	1	45g	924	61.6	15	
	2	52.5g	999	66.6	15	
	3	90g	1,659	55.3	30	
	4	30g	1,344	67.2	20	
	5	19.2g	955	31.8	30	
	6	37.5g	1,550	51.7	30	
	7	60g	1,399	93.3	15	
	8	36g	1,260	42.0	30	
	9	37.5g	1,299	52.0	25	
	10	70g	1,344	43.2	約31	
	11	40g	2,079	138.6	15	
飲 料	12	720ml	1,680	140.0	12	
	13	720ml	1,874	104.1	18	
	14	500ml	1,980	158.4	約12	
	15	500ml	2,625	210.0	約12	
	16	720ml	1,869	103.8	18	
	17	720ml	1,974	82.3	24	
	(ア ロ エ ベ ラ 参 考 品)	18	500ml	2,079	415.8	5
		19	900g	2,600	288.9	9
		20	720ml	1,470	122.5	12
	(医 薬 品 参 考 品)	A	36g	1,575	65.6	24
B		35g	1,399	83.9	約16	

※：「1パッケージの使いきりまでの日数」は、1日の摂取目安量で割り切れない個数の場合は切捨てとし、「約～」と記載した。

なお、A及びBの重量は、1錠当たりの重さに錠数を乗じて算出した値。

※：「購入価格」は、2005年7月に、店頭もしくは通信販売における購入価格を調査した時のものを記載した。ただし、極端な割引等が実施された際の価格（半額セール等）は除外し通常販売時のものとした。なお、この表は費用の比較のために作成したものであり、現在この価格で購入できるという数値を記載しているわけではない。

7. 消費者へのアドバイス

1) キダチアロエを使った食品には下剤成分のバルバロインが含まれているので、利用する際には少量から試して様子を見るように

アロエには様々な種類があるが、食用には主にキダチアロエとアロエベラが使用されている。キダチアロエには、下剤成分であるバルバロインが含まれており、それを加工した食品にも当然含まれている。ただし、その量は銘柄によって差が大きいため、利用する際には必ず少量から試して様子を見るようにしよう。1日の摂取目安量あたりでは、飲料からより多く摂取する可能性があり、中には医薬品並みの量を摂取してしまう銘柄もあるので注意する。

一方、アロエベラを使用した飲料からはバルバロインは検出されなかった。お互いアロエを加工した食品であるが、性質は異なることを知っておく。

2) キダチアロエ粉末量の表示はその中の成分量の目安とはならない

商品にキダチアロエ粉末の量を表示してある銘柄は多いが、キダチアロエ粉末の量とキダチアロエ特有の成分であるアロエニン量の関係を調べると、キダチアロエ粉末の量が多いものがアロエニン量も多いわけではなかった。キダチアロエ粉末量の表示は、その中の成分量に比例しておらず、商品選択の際の目安とはならない。

また、アロエニンの多い銘柄は下剤成分であるバルバロインも多い傾向にあった。アロエニン量が表示されている商品もあるので、お腹の弱い人は目安にしてもよい。

3) 開封後は高温多湿なところを避けるなど保存には十分気をつけよう

未開封では問題となるものはなかったが、保存状態が悪いと、緑が濃い食品は光過敏症の原因となるフェオホルバイドが増える可能性がある。また、一般細菌が若干検出された銘柄もあった。高温多湿な環境で保存すると細菌が増える可能性があるため、開封後の保存には気をつけよう。

8. 業界への要望

1) 食品についての注意表示をわかりやすく記載してほしい

キダチアロエを使った食品には下剤成分であるバルバロインが含まれており、摂取する量によってはお腹が緩くなる可能性もある。一部の銘柄には、過剰摂取に関する注意表示や妊産婦や乳幼児等に対する摂取の注意事項がなかったため、必ず記載してほしい。さらに、お腹の緩くなる成分が含まれていることも明記してほしい。

2) 商品の名称は業界で統一してほしい

商品の名称は、業界団体等で定義付けが行われているが、実際は、メーカーごとに異なり、消費者には同じ性質の商品であるのかがわかりにくいので、わかりやすい表記に業界で統一してほしい。また、原材料の表記に関しても統一してほしい。

3) 「無農薬」等の表示を改善してほしい

1992年に制定された「特別栽培農産物に係る表示ガイドライン」によると、農産物では「無農薬」等の表示ができなくなっている。このガイドラインでは、加工食品は規制の対象となっていないものの、ガイドラインを踏まえた表示に変更することが望ましいと考える。表示の改善を検討してほしい。

9. 行政への要望

1) キダチアロエを使った「健康食品」には、お腹が緩くなる可能性を注意喚起する表示をさせるとともに 1 日の摂取目安量についてもバルバロイン量を考慮して十分な安全率を見込んで設定されるよう指導をしてほしい

キダチアロエを使った「健康食品」は、下剤成分であるバルバロインが多く含まれ、中には、医薬品と同程度摂取する可能性のあるものもあった。キダチアロエは「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質（原材料）」であるが、「健康食品」として加工するとキダチアロエそのものを食べるのとは異なり、バルバロインを過剰に摂ってしまう可能性があるため、摂取量については注意する必要があると思われる。

過剰摂取等による健康被害の発生を予防するためにも、キダチアロエを使った「健康食品」には、お腹が緩くなる可能性を注意喚起する表示をさせるとともに 1 日の摂取目安量についてもバルバロイン量を考慮して十分な安全率を見込んで設定されるよう指導をしてほしい。

2) 消費者の誤認を招きかねない食品表示に対し、より一層の指導を

「特別栽培農産物に係る表示ガイドライン」により農産物では使用できない表現である「無農薬」をうたった商品が多く見られるが、農産物を使用した食品でも同様に扱われるのが望ましいと考える。ガイドラインを踏まえた表示に改善するよう指導してほしい。

10. テスト方法

1) バルバロイン量

日本薬局方（14改正）アロエ中のバルバロイン定量法を参考に HPLC（高速液体クロマトグラフィー）法により実施した。

・錠剤の試料調整

粉碎試料 0.1 g を 100ml ナス型フラスコに取り、精製水 2.5ml を加え湿潤させた後、0.02% シュウ酸メタノール溶液 35ml を加え、80℃で 30 分間還流抽出を行った。これを 0.02% シュウ酸メタノール溶液で 50ml に定容した。この溶液の上清 30ml を蒸発乾固させ、メタノール 3ml で溶かした後、0.45 μm メンブランフィルターでろ過して HPLC 用試料とした。

・飲料の試料調整

25ml に 0.02% シュウ酸メタノール溶液 25ml を加え、30 分間超音波抽出を行った後 0.02% シュウ酸メタノール溶液で 50ml に定容し、これを 0.45 μm メンブランフィルターでろ過して HPLC 用試料とした。

<HPLC 条件>

カラム：TSK-GEL ODS-80Ts 4.6mm×250mm

溶離液：アセトニトリル：水：酢酸＝24：76：1

カラム温度：35℃ 流速：1.0ml/min 試料注入量：20 μl

検出器：紫外可視分光光度計 測定波長：360nm

2) 一般細菌数及び大腸菌群の検査方法

食品検査指針を参考とし、標準寒天培地を用いて、寒天平板培養法により一般細菌数を調べた。培養は、37±1℃で、40～48 時間行った。培養後、コロニー数を計測し判定した。また、大腸菌群は発色酵素基質による方法で、その有無を確認した。

錠剤は、約 10g に生理食塩水 90ml を加えて 30 分間膨潤させた後、ストマッカーで均一化（2 分間）したものを試料溶液とし、この 1ml を適宜希釈し試料とした。

なお、本試験には、スリーエムヘルスケア社のペトリフィルム、「好気性菌測定用（AC プレート）」及び「大腸菌および大腸菌群測定用（EC プレート）」をそれぞれ用いた。

3) 異物試験方法

静置した容器をすかし、沈殿や浮遊物がないかを確認した。その後、容器をよく振り、内容物を混ぜ、浮遊物がないかを確認した。なお、1 銘柄につき 3 本実施した。

4) フェオホルバイド

衛生試験法・注解（2005 年版）の手法を参考に、抽出方法を簡略化して HPLC 法により実施した。ここでいうフェオホルバイドとは、フェオホルバイド a とピロフェオホルバイド a を合わせたもの（既存フェオホルバイド）のことを指している。

• 錠剤の試料調整

粉碎試料 0.5 g を 50ml メスフラスコに取り、85%アセトン 40ml を加え、一晩放置した後、超音波抽出を 1 時間行った。これを 85%アセトンで 50ml に定容し、0.45 μ m メンブランフィルターでろ過して HPLC 用試料とした。

• 飲料の試料調整

15g を 100ml メスフラスコに取り、アセトン 85ml を加え一晩放置した後、30 分間超音波抽出を行った。その後 85%アセトンで 100ml に定容し、0.45 μ m メンブランフィルターでろ過して HPLC 用試料とした。

<HPLC 条件>

カラム：Shodex ODS Pak F511 4.6mm×250mm

溶離液：アセトニトリル：0.1%リン酸溶液：テトラヒドロフラン=88：10：2

カラム温度：30℃ 流速：0.8ml/min 試料注入量：10 μ l

検出器：紫外可視分光光度計 測定波長：410nm

5) アロエニン量

(財) 日本健康・栄養食品協会の健康補助食品規格基準集「キダチアロエ食品」のアロエニンの含有量試験を参考に HPLC 法により実施した。

<HPLC 条件>

カラム：TSK-GEL ODS-80T_M 4.6mm×150mm

溶離液：メタノール：水=30：70

カラム温度：50℃ 流速：0.8ml/min 試料注入量：5 μ l

検出器：紫外可視分光光度計 測定波長：293nm

11. 参考資料

<参考資料1>

○キダチアロエを使った錠剤・飲料の表示比較（その1）

区分	No.	銘柄名	販売者、発売元、製造元もしくは輸入者	キダチアロエに関する表示							摂取に関する注意表示										キダチアロエ粉末等含量に関する表示	アロエに関する主なうたい文句（抜粋）	摂取に関する主な注意表示（抜粋）
				粉末量	エキス量	アロエニン量	産地・由来等	効果について	生薬相当量	パーセンテージ	お腹が緩くなる	体質に合わないとき	多量摂取	生理・妊産婦・授乳時	乳幼児・小児・子供	アレルギー関連	その他	栄養成分表示	添加物不使用	無農薬			
錠	1	キダチアロエ	井藤漢方製薬(株)	○			○	○											キダチアロエ末900mg 1日当たり（12粒（3g）当たり）	古くから伝承される健康植物600種類以上存在するといわれているアロエの中で、比較的寒さに強いのがキダチアロエです。日本に古くから伝わっており、人々の暮らしと共に歴史を歩んできた頼りになる植物です。その秘密はキダチアロエの厚い葉に含まれるからだにうれしい成分にあります。キダチアロエには、特有の強い苦味がありますが、本品は飲みやすい錠剤タイプに仕上げました。	一度に飲み込もうとせず、数粒ずつに分けてお飲みください。ごくまれに体質に合わない方もおられますので、その場合はご利用をお控えください。		
	2	キダチアロエ緑力粒	(株)ウエルネスジャパン	○			○	○											14粒（3.5g）当たり キダチアロエ末 1050mg	無農薬栽培 アロエ使用 健康に役立つアロエ粒 伊豆朝摘み一番アロエ使用 別名「医者いらず」として健康や美容に、一般家庭でも重宝され親しまれてきました「キダチアロエ」。本品は伊豆の太陽をサンサンと浴び、無農薬栽培で育てたアロエを独特の苦味をさけるため、飲みやすい粒タイプに仕上げました美容健康食品です。生のアロエと変わらぬ実力！ 食物繊維が豊富に含まれているので、毎日の健康維持と美容にお役立てください。	まれに体質に合わないこともありますので、その際はご使用を一時中止して下さい。		
	3	キダチアロエ生薬粒	オリヒロ(株)	○		○	○	○											製品12粒（3.0g）中 伊豆産キダチアロエ末 1500mg（アロエニンとして 15mg）	伊豆産・無農薬 無化学肥料栽培を新鮮加工 伊豆産 無農薬 キダチアロエ100%使用 キダチアロエは古くから人々の健康維持に幅広く利用されているユリ科の多年草です。本品は、伊豆産のキダチアロエを食品添加物は一切使用せず、飲みやすい粒状に仕上げました。	まれに体質に合わないこともありますので、体調の優れない場合は一時利用を中止してください。疾病などで治療中の方は、召し上がる前に医師にご相談ください。本品をご利用後、便が緩くなる場合があります。胃腸の弱い方、妊産婦、お子様はご利用を控えてください。		
	4	☆ キダチアロエ粒	(株)サプリックス										○	○	○	○	○	○			キダチアロエ100% 本品は、無農薬で栽培したキダチアロエの全葉を乾燥させ、粉末化し粒状に加工したものです。	量が過ぎますとお腹がゆるく(原文:ゆるく)なる場合がありますので、その場合には量を減らしてください。食品アレルギーのある方や体質により、まれに発疹などの症状が出る場合があります。その場合は飲用をお止めください。箱の内側：まれに体質に合わない方もございますので、ご利用後、体調のすぐれない場合は、ご利用を中止してください。	
	5	☆ キダチアロエエキス	(株)ディーエイチシー		○				○										1粒320mgあたり キダチアロエエキス末（8倍濃縮） 50mg	保護力、防御力に優れたキダチアロエにビタミンC、ビタミンEを加えました。	本品は過剰摂取を避け、1日の摂取目安量を超えないようにお召し上がりください。お身体に異常を感じた場合は、飲用を中止してください。原材料をご確認の上、食品アレルギーのある方はお召し上がりにならないでください。薬を服用中あるいは通院中の方は、お医者様にご相談の上お召し上がりください。		
	6	天然効果 キダチアロエ	ハウス食品(株)	○		○	○	○											1粒はキダチアロエ生薬、約3.75gに相当。5粒でキダチアロエ粉末625mg（アロエニン1%以上）	国産の無農薬栽培されたキダチアロエの葉をそのまま乾燥・粉末化した原料を使用しています。1粒はキダチアロエの生薬、約3.75gに相当。	摂りすぎるとお腹がゆるくなる場合があります。妊娠中の方、お子様、アレルギーのある方は、医師とご相談ください。		
	7	☆ キダチアロエ粒	(株)ファイン	○		○	○	○											16粒（4g）あたり キダチアロエ末 1400mg （アロエニンとして 14mg）	国産キダチアロエ使用 キダチアロエは健康維持の植物として古くから用いられてきました。本品は国産キダチアロエ末を主成分にした栄養補助食品です。本品はキダチアロエ特有の苦味がありますのでご注意ください。本体表示：国産無農薬キダチアロエ使用 本品は国産無農薬キダチアロエ末を主成分にした栄養補助食品です。	体調などによりお腹がゆるくなる場合がありますので初めは少量からのご利用をおすすめします。妊産婦の方は念のため医師にご相談ください。一度に目安量を超えて大量に摂取することはお止めください。		
	8	キダチアロエ	(株)ファンケル	○	○		○	○											1日の目安：3～5粒 キダチアロエ粉末…576～960mg キダチアロエエキス…118.8～198mg 1粒中 キダチアロエ粉末…192mg キダチアロエエキス…39.6mg （キダチアロエ粉末換算 79mg）	国産のキダチアロエを使用。一粒で生薬約5gに相当します。	原材料をご参照の上、食品アレルギーのある方はお召し上がりにならないでください。また、体質や体調によりまれに下痢などの症状が出る場合があります。その場合は摂取を中止し、お客様相談室にご相談ください。妊娠・授乳中の方、お子様はお召し上がりにならないでください。薬を服用中あるいは通院中の方及び腎炎・痔疾患の方はお医者様とご相談の上お召し上がりください。		
	9	キダチアロエ エキス粒	メイワ薬粧(株)				○														キダチアロエは「ユリ科」に属する多肉植物で、地中海沿岸と南アフリカが原産地です。わが国にアロエが渡来したのは、古く鎌倉時代ともいわれています。現代では全国各地の温暖地で広く栽培されています。		
	10	☆ 山本漢方のキダチ アロエ粒100%	山本漢方製薬(株)				○														キダチアロエを飲みやすく粒状に仕上げました。キダチアロエの「アロエ」とは、アラビア語で「苦味のある」という意味で、昔から多くの人たちに愛用されてきました。100%	本品は、多量摂取により疾病が治癒したり、より健康が増進するものではありません。生理、妊娠中はご使用を中止して下さい。アレルギー、疾病のある方又は治療を受けている方は、召し上がる前に医師に相談してください。まれに体質に合わないこともありますので、体調の優れない場合はご使用を中止して下さい。	
	11	アロエマイルド	ユリカ(株)	○			○	○											○	キダチアロエ粉末130～135mg/粒	天然キダチアロエ全葉 本物志向タイプ 無農薬栽培 新鮮高品質、高付加価値食品（詳しくはホームページをご覧ください） 日本人に古くから愛用されてきたキダチアロエは、健康体を維持するのに深い関わりのある多種多様な成分が含まれている植物です。アロエマイルドは、キダチアロエの熱に不安定な酵素類が酸化されたり、変性しないように、真空凍結乾燥法で粉末化、さらに、粒状に加工（特許技術）した高品質で高付加価値の健康食品です。	アロエマイルドは、デナイ～人もデル～人も両方の人に毎朝スッキリ宣言をいたします。人によっては、便がすぎる場合があります。そのときは、量を減らしたりして調節してください。	

☆マークは、テストした商品と2005年7月現在販売されている商品とで表示が異なるもの。

○キダチアロエを使った錠剤・飲料の表示比較（その2）

区分	No.	銘柄名	販売者、発売元、製造元もしくは輸入者	キダチアロエに関する表示											摂取に関する注意表示						キダチアロエエキス等含量に関する表示	アロエに関する主なうたい文句（抜粋）	摂取に関する主な注意表示（抜粋）							
				粉末量	エキス量	アロエニン量	産地・由来等	効果について	生薬相当量	パーセンテージ	お腹が緩くなる	体質に合わないとき	多量摂取	生理・妊産婦・授乳時	乳幼児・小児・子供	アレルギー関連	その他	栄養成分表示	添加物不使用	無農薬										
飲	12	キダチアロエ原液100	(株)ウエルネスジャパン										○														伊豆朝摘み一番アロエ使用 静岡県伊豆の温暖な気候の土壌から無農薬栽培されたキダチアロエを朝一番で収穫し、丸ごとしぼった原液100%エキスです。アロエ特有の成分であるアロインなどの有効成分をそのままの状態です。《アロエとは…》アロエはユリ科アロエ属植物の総称で全品種を数えると300種類以上ある植物です。昔から別名「医者いらず」と呼ばれる程、健康維持に役立つ食べ物として評価されてきました。 無農薬栽培アロエ使用 キダチアロエ 生薬搾り100%	伊豆朝摘み一番アロエ使用 静岡県伊豆の温暖な気候の土壌から無農薬栽培されたキダチアロエを朝一番で収穫し、丸ごとしぼった原液100%エキスです。アロエ特有の成分であるアロインなどの有効成分をそのままの状態です。《アロエとは…》アロエはユリ科アロエ属植物の総称で全品種を数えると300種類以上ある植物です。昔から別名「医者いらず」と呼ばれる程、健康維持に役立つ食べ物として評価されてきました。 無農薬栽培アロエ使用 キダチアロエ 生薬搾り100%	伊豆朝摘み一番アロエ使用 静岡県伊豆の温暖な気候の土壌から無農薬栽培されたキダチアロエを朝一番で収穫し、丸ごとしぼった原液100%エキスです。アロエ特有の成分であるアロインなどの有効成分をそのままの状態です。《アロエとは…》アロエはユリ科アロエ属植物の総称で全品種を数えると300種類以上ある植物です。昔から別名「医者いらず」と呼ばれる程、健康維持に役立つ食べ物として評価されてきました。 無農薬栽培アロエ使用 キダチアロエ 生薬搾り100%	
	13	キリン 四万十キダチアロエ	キリン ウェルフェーズ(株)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	20ml当たり キダチアロエエキス 20ml (キダチアロエ生薬 換算 30.5g) アロエニン 26.0mg	日本有数の清流「四万十川」の流域にて無農薬で栽培した有機キダチアロエ使用 豊かな土壌に恵まれた日本有数の清流、四国「四万十川」流域で農業を使用せず、有機肥料を使用し栽培した、有機キダチアロエを使用しています。本品は、朝摘みした新鮮なキダチアロエの生薬を24時間以内に搾汁した、キダチアロエのエキス100%です。キダチアロエは古くから日本各地で親しまれており、冬でも気候が温暖な地域に生育するユリ科の植物です。キダチアロエの有効成分として「アロエニン」が知られています。日本有数の清流、四国「四万十川」のもとで栽培された国産キダチアロエ100%	日本有数の清流「四万十川」の流域にて無農薬で栽培した有機キダチアロエ使用 豊かな土壌に恵まれた日本有数の清流、四国「四万十川」流域で農業を使用せず、有機肥料を使用し栽培した、有機キダチアロエを使用しています。本品は、朝摘みした新鮮なキダチアロエの生薬を24時間以内に搾汁した、キダチアロエのエキス100%です。キダチアロエは古くから日本各地で親しまれており、冬でも気候が温暖な地域に生育するユリ科の植物です。キダチアロエの有効成分として「アロエニン」が知られています。日本有数の清流、四国「四万十川」のもとで栽培された国産キダチアロエ100%
	14	キダチアロエエキス	(株)ケイセイ																									有機栽培 アロエ原液100% 有機栽培キダチアロエを100%毎日の美容と健康維持のために ご愛飲ください。	有機栽培 アロエ原液100% 有機栽培キダチアロエを100%毎日の美容と健康維持のために ご愛飲ください。	有機栽培アロエ原液100% 有機栽培キダチアロエを100%毎日の美容と健康維持のために ご愛飲ください。
	15	キダチアロエ ファインエキス	(株)平田農園																									有機キダチアロエ100%	有機キダチアロエ100%	有機キダチアロエ100%
	16	アロエエキス ロイヤル	マンナン フーズ(株)																									国産キダチアロエ100% 無農薬栽培 新鮮生薬搾り アロエは、アフリカを中心とした熱帯・亜熱帯地方原産の常緑多肉植物です。日本ではキダチアロエが最も有名で、古くから健康維持に親しまれてきました。本品は陽気な気候で育まれ、無農薬・無化学肥料にて栽培されたキダチアロエの生薬を朝摘みして、新鮮なうちに作られた健康補助飲料です。	国産キダチアロエ100% 無農薬栽培 新鮮生薬搾り アロエは、アフリカを中心とした熱帯・亜熱帯地方原産の常緑多肉植物です。日本ではキダチアロエが最も有名で、古くから健康維持に親しまれてきました。本品は陽気な気候で育まれ、無農薬・無化学肥料にて栽培されたキダチアロエの生薬を朝摘みして、新鮮なうちに作られた健康補助飲料です。	国産キダチアロエ100% 無農薬栽培 新鮮生薬搾り アロエは、アフリカを中心とした熱帯・亜熱帯地方原産の常緑多肉植物です。日本ではキダチアロエが最も有名で、古くから健康維持に親しまれてきました。本品は陽気な気候で育まれ、無農薬・無化学肥料にて栽培されたキダチアロエの生薬を朝摘みして、新鮮なうちに作られた健康補助飲料です。
	17	★ 新鮮生薬一番搾り	メイワ薬粧(株)																									キダチアロエエキス液 本品はキダチアロエの本場南伊豆で栽培された良質の生薬を、早朝から採取して液を搾りとり、その日のうちに製品・瓶詰めして作り上げた、新鮮な健康飲料です。生薬の一番搾り汁のみを瓶詰めしておりますので、アロエ本来の成分と苦味が生きています。	キダチアロエエキス液 本品はキダチアロエの本場南伊豆で栽培された良質の生薬を、早朝から採取して液を搾りとり、その日のうちに製品・瓶詰めして作り上げた、新鮮な健康飲料です。生薬の一番搾り汁のみを瓶詰めしておりますので、アロエ本来の成分と苦味が生きています。	キダチアロエエキス液 本品はキダチアロエの本場南伊豆で栽培された良質の生薬を、早朝から採取して液を搾りとり、その日のうちに製品・瓶詰めして作り上げた、新鮮な健康飲料です。生薬の一番搾り汁のみを瓶詰めしておりますので、アロエ本来の成分と苦味が生きています。
料	ア 参	18	新鮮搾りアロエベラ ドリンク	オリヒロ(株)		(○)	(○)	(○)	(○)																		(製品100ml中 アロエベラ葉肉エキス 90ml (生アロエベラ換算 200g相当))	美容に役立つアロエベラ飲料 アロエはユリ科アロエ属の植物の総称で、原産地はアフリカと言われています。アロエは古くから体に良い食品として愛用されてきましたが、現在では世界各国でアロエの研究がなされ、その有用性から食品や化粧品などに広く利用されています。アロエベラは皮は使用していません。無農薬・無着色・保存料不使用	美容に役立つアロエベラ飲料 アロエはユリ科アロエ属の植物の総称で、原産地はアフリカと言われています。アロエは古くから体に良い食品として愛用されてきましたが、現在では世界各国でアロエの研究がなされ、その有用性から食品や化粧品などに広く利用されています。アロエベラは皮は使用していません。無農薬・無着色・保存料不使用	美容に役立つアロエベラ飲料 アロエはユリ科アロエ属の植物の総称で、原産地はアフリカと言われています。アロエは古くから体に良い食品として愛用されてきましたが、現在では世界各国でアロエの研究がなされ、その有用性から食品や化粧品などに広く利用されています。アロエベラは皮は使用していません。無農薬・無着色・保存料不使用
		19	アロエベラ・ゲル 100	(株)コーワ リミテッド																								アロエベラは、世界のアロエ市場の95%を占めると言われるくらい人気が高いものです。アロエベラは、微量多量の成分と栄養成分を含む植物として、又、類を見ないほど優れている植物として、長いあいだ世界中の人々に色々な形で役立っています。その秘密は、ゲル(葉肉のゼリー部分)の中にある粘液に含まれる「ムコ多糖体」という成分にあります。当社の製品で使用されるアロエベラは、南国タイの恵まれた気候の中、大地の栄養をたっぷり吸収し、成熟したアロエベラを厳選し、ゲルを丸ごと飲みやすく加工しました。南国タイの恵まれた気候の中、大地のミネラルをたっぷり吸収し育ったアロエベラ。	アロエベラは、世界のアロエ市場の95%を占めると言われるくらい人気が高いものです。アロエベラは、微量多量の成分と栄養成分を含む植物として、又、類を見ないほど優れている植物として、長いあいだ世界中の人々に色々な形で役立っています。その秘密は、ゲル(葉肉のゼリー部分)の中にある粘液に含まれる「ムコ多糖体」という成分にあります。当社の製品で使用されるアロエベラは、南国タイの恵まれた気候の中、大地の栄養をたっぷり吸収し、成熟したアロエベラを厳選し、ゲルを丸ごと飲みやすく加工しました。南国タイの恵まれた気候の中、大地のミネラルをたっぷり吸収し育ったアロエベラ。	アロエベラは、世界のアロエ市場の95%を占めると言われるくらい人気が高いものです。アロエベラは、微量多量の成分と栄養成分を含む植物として、又、類を見ないほど優れている植物として、長いあいだ世界中の人々に色々な形で役立っています。その秘密は、ゲル(葉肉のゼリー部分)の中にある粘液に含まれる「ムコ多糖体」という成分にあります。当社の製品で使用されるアロエベラは、南国タイの恵まれた気候の中、大地の栄養をたっぷり吸収し、成熟したアロエベラを厳選し、ゲルを丸ごと飲みやすく加工しました。南国タイの恵まれた気候の中、大地のミネラルをたっぷり吸収し育ったアロエベラ。
	考 工 品 ベ ラ	20	アロエベラ	(株)ディーエイチシー																								無農薬栽培されたアロエベラの熟した葉を使用し、葉肉の多糖類だけを搾った健康飲料です。苦み成分を取り除いているため飲みやすく、アロエベラの健康成分をまるごと摂れます。 添付文書：アロエベラの健康成分が豊富な葉肉のゼリー部分をまるごと搾った、身体に吸収されやすいドリンクです。原料は、生育に適した沖縄で農業を使わず栽培されたアロエベラ。土壌にサンゴを含む沖縄産アロエベラは、他地域で栽培されたアロエベラに比べて高血圧の原因になりやすいナトリウムがなく、日本人に不足しがちなカルシウムやマグネシウムが豊富とされています。働きを損なわずに、アロエ特有の苦み・刺激成分アロインだけをカットして、お子さまにも飲みやすい、くせのないさわやかな健康飲料にしています。 健康成分が豊富なアロエ アロエは、ユリ科アロエ属の多年生常緑多肉質草。別名「医者いらず」といわれるほど健康成分が豊富です。古くはエジプト時代の医学書に記され、ギリシャ・ローマ時代には兵士の傷の手当てや健胃、整腸に利用されていました。いまでは世界各地で活用され、アメリカでは「キッチン・ウィンドーシル・プラント」と呼ばれ、常備されるほど生活に定着。日本でもポピュラーな存在となっています。 「アロエの王様」アロエベラのドリンク アロエのなかでも「真実のアロエ」と呼ばれるアロエベラは、葉肉が厚く、アロエ特有成分のほとんどが、この半透明なゼリー部分に集中。健康や美容に重要な必須アミノ酸、ビタミン類なども豊富に含まれています。とりわけ多いのは、高分子物質と呼ばれる多糖類。活力を高めて体内でのダメージを防いだり、消化を助ける働きがあります。また紫外線が強い乾燥地帯で育つため、パワフルな抗酸化作用をもち、病気に負けない丈夫な身体づくりに役立つとされています。その他ローレン生成を促し、うるおいとハリを与えるなど美容効果も期待されています。	無農薬栽培されたアロエベラの熟した葉を使用し、葉肉の多糖類だけを搾った健康飲料です。苦み成分を取り除いているため飲みやすく、アロエベラの健康成分をまるごと摂れます。 添付文書：アロエベラの健康成分が豊富な葉肉のゼリー部分をまるごと搾った、身体に吸収されやすいドリンクです。原料は、生育に適した沖縄で農業を使わず栽培されたアロエベラ。土壌にサンゴを含む沖縄産アロエベラは、他地域で栽培されたアロエベラに比べて高血圧の原因になりやすいナトリウムがなく、日本人に不足しがちなカルシウムやマグネシウムが豊富とされています。働きを損なわずに、アロエ特有の苦み・刺激成分アロインだけをカットして、お子さまにも飲みやすい、くせのないさわやかな健康飲料にしています。 健康成分が豊富なアロエ アロエは、ユリ科アロエ属の多年生常緑多肉質草。別名「医者いらず」といわれるほど健康成分が豊富です。古くはエジプト時代の医学書に記され、ギリシャ・ローマ時代には兵士の傷の手当てや健胃、整腸に利用されていました。いまでは世界各地で活用され、アメリカでは「キッチン・ウィンドーシル・プラント」と呼ばれ、常備されるほど生活に定着。日本でもポピュラーな存在となっています。 「アロエの王様」アロエベラのドリンク アロエのなかでも「真実のアロエ」と呼ばれるアロエベラは、葉肉が厚く、アロエ特有成分のほとんどが、この半透明なゼリー部分に集中。健康や美容に重要な必須アミノ酸、ビタミン類なども豊富に含まれています。とりわけ多いのは、高分子物質と呼ばれる多糖類。活力を高めて体内でのダメージを防いだり、消化を助ける働きがあります。また紫外線が強い乾燥地帯で育つため、パワフルな抗酸化作用をもち、病気に負けない丈夫な身体づくりに役立つとされています。その他ローレン生成を促し、うるおいとハリを与えるなど美容効果も期待されています。	無農薬栽培されたアロエベラの熟した葉を使用し、葉肉の多糖類だけを搾った健康飲料です。苦み成分を取り除いているため飲みやすく、アロエベラの健康成分をまるごと摂れます。 添付文書：アロエベラの健康成分が豊富な葉肉のゼリー部分をまるごと搾った、身体に吸収されやすいドリンクです。原料は、生育に適した沖縄で農業を使わず栽培されたアロエベラ。土壌にサンゴを含む沖縄産アロエベラは、他地域で栽培されたアロエベラに比べて高血圧の原因になりやすいナトリウムがなく、日本人に不足しがちなカルシウムやマグネシウムが豊富とされています。働きを損なわずに、アロエ特有の苦み・刺激成分アロインだけをカットして、お子さまにも飲みやすい、くせのないさわやかな健康飲料にしています。 健康成分が豊富なアロエ アロエは、ユリ科アロエ属の多年生常緑多肉質草。別名「医者いらず」といわれるほど健康成分が豊富です。古くはエジプト時代の医学書に記され、ギリシャ・ローマ時代には兵士の傷の手当てや健胃、整腸に利用されていました。いまでは世界各地で活用され、アメリカでは「キッチン・ウィンドーシル・プラント」と呼ばれ、常備されるほど生活に定着。日本でもポピュラーな存在となっています。 「アロエの王様」アロエベラのドリンク アロエのなかでも「真実のアロエ」と呼ばれるアロエベラは、葉肉が厚く、アロエ特有成分のほとんどが、この半透明なゼリー部分に集中。健康や美容に重要な必須アミノ酸、ビタミン類なども豊富に含まれています。とりわけ多いのは、高分子物質と呼ばれる多糖類。活力を高めて体内でのダメージを防いだり、消化を助ける働きがあります。また紫外線が強い乾燥地帯で育つため、パワフルな抗酸化作用をもち、病気に負けない丈夫な身体づくりに役立つとされています。その他ローレン生成を促し、うるおいとハリを与えるなど美容効果も期待されています。

☆マークは、テストした商品と2005年7月現在販売されている商品とで表示が異なるもの。

※：参考品であるアロエベラを使用した飲料の3銘柄の原料はキダチアロエではないが、アロエに関する表示があったため括弧書きで○を記載した。

○キダチアロエを使った錠剤・飲料の表示比較（その3）

区分	No.	銘柄名	販売者、発 売元、製造 元もしくは輸 入者	キダチアロエに関する表示					摂取に関する注意表示										キダチアロエエキス 等含量に関する表示	アロエに関する主なうたい文句（抜粋）	摂取に関する主な注意表示（抜粋）	
				粉末 量	エキ ス量	アロ エニ ン量	産地 ・由 来等	効 果に つ い て	生 薬 相 当 量	パ ー セ ン テ ー ジ	お 腹 が 緩 く な る	体 質 に 合 わ な い と き	多 量 摂 取	生 理 ・ 妊 産 婦 ・ 授 乳 時	乳 幼 児 ・ 小 児 ・ 子 供	ア レ ル ギ ー 関 連	そ の 他	栄 養 成 分 表 示				添 加 物 不 使 用
（医 参 考 薬 品 品 ）	A	本草アロエ錠	本草製薬(株)	○		○	○													(5錠中 日本薬局方ア ロエ末 375mg)	アロエの原産地は南アフリカや地中海沿岸で紀元前2000年頃 古代エジプトの時代から薬用植物として使われていた事が分 かっています。アロエの名はギリシャの古名albeによります がその語源はアラビア語のallochまたはヘブライ語の苦い意 のallalに基づくといわれています。アロエ属植物は、180 余種知られており南アフリカ、東アフリカ地方に分布してい ます。アロエはユリ科の多年生の植物で葉は多肉です。種類 としてはケーブ・アロエ（南アフリカケープ地方）その他、 ナタール・アロエ、ソコトラ・アロエ、キュラソー・アロエ があり、日本でみられるのはほとんどがキダチアロエです。 成分としては、結晶性苦味質aloinや、aloe-emodinなどを 含有しています。日本薬局方ではケーブ・アロエを基原植物 としており、主作用としては排便促進作用が知られていま す。	添付文書：してはいけないこと（守らないと現在の症状が悪 化したり、副作用が起こりやすくなる） 1. 本剤を服用し ている間は、次の医薬品を服用しないこと 他の瀉下薬（下 剤） 2. 大量に服用しないこと 相談すること 1. 次の人は服用前に医師又は薬剤師に相談 すること (1) 医師の治療を受けている人。 (2) 妊婦又は妊 娠していると思われる人。 (3) 次の症状のある人。 はげし い腹痛、悪心・嘔吐 2. 次の場合は、直ちに服用を中止 し、この文書を持って医師又は薬剤師に相談すること (1) 服 用後、次の症状があらわれた場合 関係部位 消化器 症状 はげしい腹痛、悪心・嘔吐 (2) 1週間位服用しても症状がよ くならない場合 3. 次の症状があらわれることがあるの で、このような症状の継続又は増強が見られた場合には、服 用を中止し、医師又は薬剤師に相談すること 下痢 <用法・用量に関連する注意> 小児に服用させる場合に は、保護者の指導監督のもとに服用させること。
	B	アロエ錠「MY」	発売元 (株)ヤクルト 本社 製造元 松本製薬工 業(株)	○		○														(6錠 (2.1g) 中 アロ エ末 750mg)	アロエ末の有効成分が、自然に近い穏やかな排便をもたらしま す。	添付文書：してはいけないこと（守らないと現在の症状が悪化したり、 副作用が起こりやすくなります） 1. 本剤を服用している間は、次の 医薬品を服用しないでください。 他の瀉下薬（下剤） 2. 大量に服 用しないでください。 相談すること 1. 次の人は服用前に医師または薬剤師に相談してくだ さい。 (1) 医師の治療を受けている人。 (2) 妊婦または妊娠し ていると思われる人。 (3) 次の症状のある人。 はげしい腹痛、悪 心・嘔吐 2. 次の場合は、直ちに服用を中止し、この文書を持って医 師または薬剤師に相談してください。 (1) 服用後、次の症状があら われた場合。 関係部位 消化器 症状 はげしい腹痛、悪心・嘔吐 (2) 1週間位服用しても症状がよくなる場合。 3. 次の症状があ らわれることがあるので、このような症状の継続または増強が見られた 場合には、服用を中止し、医師または薬剤師に相談してください。 下 痢 <用法・用量に関連する注意> (1) 小児に服用させる場合には、保護者 の指導監督のもとに服用させてください。 (2) 定められた用法・用量を 厳守してください。 (3) 服用時はなるべくコップ一杯の水とともに錠剤 を服用してください。

※：参考品である医薬品2銘柄の原料はキダチアロエではないが、アロエに関する表示があったため括弧書きで○を記載した。

○アロエを使った錠剤（医薬品）の成分・分量及び服用方法

区分	No.	銘柄名	販売者、発 売元、製造 元もしくは輸 入者	記載されている名称	成分・分量	用法・用量	効能・効果
（医 参 考 薬 品 品 ）	A	本草アロエ錠	本草製薬(株)	医薬品 便秘薬	5錠〔大人の1回最大服用量〕中、次の成分を含有 する。 成分 日本薬局方アロエ末 5錠中 375mg 主な 作用 大腸に直接作用して、低下している腸のぜん 動運動を高めます。 添加物として、メタケイ酸アルミン酸Mg、乳糖、 バレイシヨデンプン、ステアリン酸Mgを含有す る。	次の量を1日1回就寝前に服用すること。 ただし、初回は最小量を用 い、便通の具合や状態をみながら少しずつ増量又は減量すること。 年齢 1回量 大人(15歳以上) 3～5錠 11歳以上15歳未満 2～3錠 7歳以上11歳未満 2錠 7歳未満 服用しないこと 1日服用回数 1回	便秘 便秘に伴う次の症状の緩和：頭重、のぼ せ、肌あれ、吹出物、食欲不振（食欲減退）、腹 部膨満、腸内異常発酵、痔。
	B	アロエ錠「MY」	発売元 (株)ヤクルト 本社 製造元 松本製薬工 業(株)	医薬品 便秘薬	6錠 (2.1g) 中 アロエ末……750mg 添加物として軽質無水ケイ酸、結晶セルロース、 バレイシヨデンプン、ステアリン酸マグネシウム を含有します。	次の量を1日3回 食間に服用してください。 ただし、初回は最小量 を用い、便通の具合や状態をみながら、少しずつ増量または減量して ください。 年齢 1回量 大人(15歳以上) 1錠～2錠 7歳以上15歳未満 1/2錠 ～1錠 7歳未満 服用しないでください	便秘 便秘に伴う次の症状の緩和：頭重、のぼ せ、肌あれ、吹出物、食欲不振（食欲減退）、腹 部膨満、腸内異常発酵、痔

< 参考資料 2 >

○キダチアロエを使った錠剤・飲料に記載されている農薬・添加物等の表示

区分	No.	表示内容
錠	1	
	2	伊豆朝摘み一番アロエ使用 無農薬栽培 アロエ使用
	3	伊豆産・無農薬 無化学肥料栽培を新鮮加工 伊豆産 無農薬 キダチアロエ100%使用 <small>注1</small> 本品は、伊豆産のキダチアロエを食品添加物は一切使用せず (後略)
	4	本品は、無農薬で栽培したキダチアロエを (中略) また、防腐剤、香料、着色料等の添加物は一切使用していません。 <small>注1</small>
	5	
	6	国産の無農薬栽培されたキダチアロエの葉をそのまま乾燥・粉末化した原料を使用しています。
	7	国産キダチアロエ使用 (本体表示：国産無農薬キダチアロエ使用) <small>注2</small>
剤	8	「安心・安全」のため、合成着色料・香料、保存料すべて無添加 国産のキダチアロエを使用。一粒で生葉約5gに相当します。
	9	
	10	
	11	天然キダチアロエ全葉 本物志向タイプ 無農薬栽培 新鮮高品質、高付加価値食品 (詳しくはホームページをご覧ください)
飲料	12	伊豆朝摘み一番アロエ使用 無農薬栽培アロエ使用 防腐剤・添加物は一切使用していません <small>注1</small> (前略) アロエ特有の成分であるアロインなどの有効成分をそのままの状態です。 (後略) 本品は防腐剤、着色料、甘味料等の添加物は一切使用していないキダチアロエ原液100%のエキスですので、 (後略)
	13	日本有数の清流「四万十川」の流域にて無農薬で栽培した有機キダチアロエ使用 添加物は一切使用していません (前略) 四国「四万十川」流域で農薬を使用せず、有機肥料を使用し栽培した、有機キダチアロエ 日本有数の清流、四国「四万十川」のもとで栽培された国産キダチアロエ100%
	14	有機栽培キダチアロエを100%毎日の美容と健康維持のためご愛飲ください。 有機JASマーク
	15	有機JASマーク 本品は、農林水産省の登録認定機関である、日本オーガニック&ナチュラルフーズ協会 (JONA) より、製造業者の認定を受けた工場で作られた有機農産物加工食品です。 有機キダチアロエ100%
	16	国産キダチアロエ100% 無農薬栽培 添加物は一切使用していません <small>注1</small> (前略) 無農薬・無化学肥料にて栽培されたキダチアロエ (中略) キダチアロエエキス100%で保存料や添加物を一切使用していませんので、安心して召し上がりいただけます。
	17	南伊豆アロエ 保存料・添加物は一切使用していません。
	（ア 参 考 エ 品 ベ ラ）	18 無農薬・無着色・保存料不使用
19	産地新鮮パックだから 保存料不使用！ 南国タイの恵まれた気候の中、大地のミネラルをたっぷり吸収し育ったアロエベラ 原産国名 タイ	
20	無農薬栽培されたアロエベラの熟した葉を使用し、 (後略) <small>注1</small>	

注1：商品の説明文より抜粋した文章

注2：2005年7月現在販売されている商品とは表示が異なっている銘柄

※：農薬、肥料、添加物に関する表示について、強調された表示及び商品の説明文中の表記を前後の文章を含め抜粋してまとめた。

また、原産地に関する表示で、強調された表示及び独立した文章で表示されたものについてもまとめた。

なお、上記の表示が特になかった銘柄については空欄とした。

<参考資料3>

○キダチアロエを使った錠剤・飲料の表示名称比較

区分	No.	銘柄名	記載されている名称	他の表示 (一括表示の欄外にあるもの)	原材料
錠	1	キダチアロエ	キダチアロエ加工食品	健康補助食品	乳糖、 <u>キダチアロエ末</u> 、セルロース、ショ糖エステル
	2	キダチアロエ緑力粒	キダチアロエ加工食品	美容健康食品 注1	<u>キダチアロエ末</u> 、乳糖、還元麦芽糖、パイナップルファイバー、ショ糖エステル
	3	キダチアロエ生薬粒	キダチアロエ加工食品	健康補助食品	<u>キダチアロエ末</u> 、還元麦芽糖水飴、乳糖果糖オリゴ糖、食用油脂、乳清カルシウム
	4	キダチアロエ粒	キダチアロエ加工食品	キダチアロエ葉加工食品 栄養補助食品 注1、注3	<u>キダチアロエ粉末</u>
	5	キダチアロエエキス	キダチアロエエキス加工食品	健康食品	オリーブ油、 <u>キダチアロエエキス末</u> 、ゼラチン、グリセリン、グリセリン脂肪酸エステル、ミツロウ、ビタミンC、ビタミンE含有植物油、着色料(クチナシ、紅花黄、酸化チタン)
	6	天然効果キダチアロエ	キダチアロエ加工食品	栄養補助食品	<u>キダチアロエ</u> 、デキストリン、植物油脂、でんぷん
	7	キダチアロエ粒	キダチアロエ含有加工食品	栄養補助食品	<u>キダチアロエ末</u> 、食物繊維(セルロース)、乳糖、V.C、ショ糖脂肪酸エステル、ニコチン酸アミド、V.B6、V.B1、V.B2、パントテン酸カルシウム
	8	キダチアロエ	キダチアロエ食品	健康補助食品 JHFAマーク 注2	<u>キダチアロエ粉末</u> 、 <u>キダチアロエエキス粉末</u> 、リンゴ酸
	9	キダチアロエエキス粒	キダチアロエ加工食品	食品	<u>キダチアロエ</u> 、乳糖
	10	山本漢方のキダチアロエ粒100%	キダチアロエ含有加工食品	食品 栄養補助食品 注1、注3	<u>キダチアロエ粉末</u> 、セルロース、乳糖(乳由来)、ショ糖脂肪酸エステル
	11	アロエマイルド	キダチアロエ食品	高付加価値食品 注1 高付加価値栄養補助食品	<u>キダチアロエ全葉真空凍結乾燥粉末</u> 、乳糖
飲料	12	キダチアロエ原液100	清涼飲料水		<u>キダチアロエ抽出エキス</u>
	13	キリン 四万十キダチアロエ	キダチアロエエキス(清涼飲料水)		<u>有機キダチアロエ(100%)</u>
	14	キダチアロエエキス	有機キダチアロエエキス・清涼飲料水	有機JASマーク	<u>有機キダチアロエ</u>
	15	キダチアロエファインエキス	有機キダチアロエエキス・清涼飲料水	有機JASマーク	<u>有機キダチアロエ</u>
	16	アロエエキスロイヤル	キダチアロエエキス	健康補助飲料 注1	<u>キダチアロエ液汁</u>
	17	新鮮生薬一番搾り	清涼飲料水	キダチアロエエキス液	<u>生キダチアロエ搾り汁</u>
	18	新鮮搾りアロエベラドリンク	アロエベラ葉肉抽出飲料(清涼飲料水)	美容飲料 注1	アロエベラ葉肉エキス、イソマルオリゴ糖
	19	アロエベラ・ゲル100	アロエベラ葉肉加工飲料		アロエベラ葉肉、ショ糖、クエン酸
	20	アロエベラ	清涼飲料水		アロエベラ搾り液、クエン酸、ビタミンC、保存料(安息香酸ナトリウム)

注1：商品の説明文中もしくは添付文書でその呼び方が使用されている銘柄

注2：JHFA＝(財)日本健康・栄養食品協会の認証マーク

注3：2005年7月現在販売されている商品とは表示が異なっている銘柄

※：(財)日本健康・栄養食品協会の「キダチアロエ食品」の規格基準における製品の定義は次の通り。

「キダチアロエ加工食品」：「キダチアロエ加工食品」とは、キダチアロエ粉末を80%以上含む食品、又はキダチアロエ液汁末を20%以上含む食品をいう。

「キダチアロエ含有食品」：「キダチアロエ含有食品」とは、キダチアロエ粉末を50%以上80%未満含む食品、又はキダチアロエ液汁末を12.5%以上20%未満含む食品をいう。

「キダチアロエエキス加工食品」：「キダチアロエエキス加工食品」とは、キダチアロエ液汁を95%以上含む飲料をいう。

「キダチアロエエキス含有食品」：「キダチアロエエキス含有食品」とは、キダチアロエ液汁を50%以上95%未満含む飲料をいう。

※：(財)日本健康・栄養食品協会の「キダチアロエ食品」の規格基準における原材料規格は次の通り(抜粋)。

キダチアロエ粉末のアロエニン含有量は10mg/g以上であり、キダチアロエ液汁のアロエニン含有量は0.8mg/g以上であること。

また、キダチアロエ液汁末のアロエニン含有量は40mg/g以上であること。

<参考資料4>

○キダチアロエを使った錠剤・飲料の使用法一覧

区分	No.	銘柄名	販売者、発売元、製造者、製造元もしくは輸入者	使用方法	
錠	1	キダチアロエ	井藤漢方製薬(株)	本品は食品ですので、お召し上がりの量などに特別な定めはありませんが、1日当たり6～12粒程度を目安に2～3回に分けて、そのまま水またはお湯にて嚙みずにお飲みください。	
	2	キダチアロエ緑力粒	(株)ウエルネスジャパン	本品は食品ですので、制限はございませんが、1日あたり7粒～14粒を目安に水またはお湯でお召し上がり下さい。	
	3	キダチアロエ生葉粒	オリヒロ(株)	健康補助食品として1日に8～12粒程度を目安にお食事時などに数回に分けて、水またはお湯と共に召し上がりください。初めてご利用いただくお客様は少量からお召し上がりください。	
	4	キダチアロエ粒 ☆	(株)サブリックス	栄養補助食品として1日2～6粒を目安に、そのまま水などと一緒にお召し上がりください。	
	5	キダチアロエエキス	(株)ディーエイチシー	召し上がり量：1日2粒を目安にお召し上がりください。※本品は過剰摂取を避け、1日の摂取目安量を超えないようにお召し上がりください。 召し上がり方：水またはぬるま湯でお召し上がりください。お身体に異常を感じた場合は、飲用を中止してください。原材料をご確認の上、食品アレルギーのある方はお召し上がりにならないでください。薬を服用中あるいは通院中の方は、お医者様にご相談の上お召し上がりください。	
	6	天然効果キダチアロエ	ハウス食品(株)	1日3～5粒を目安に、かまわずに水などといっしょにお召しあがりください。	
	7	キダチアロエ粒	(株)ファイン	栄養補助食品として1日に16粒を目安に2～3回に分けて水またはお湯でお召し上がりください。	
	8	キダチアロエ	(株)ファンケル	健康補助食品として、1日3～5粒を目安にそのまま水などと一緒にお召し上がりください。過剰に摂取することは避けて、1日の目安量を守ってください。	
	9	キダチアロエエキス粒	メイワ薬粧(株)	本品は食品ですので、お召し上がりの量などに特別な定めはありませんが、1日当たり3～6粒程度を目安に、少しずつそのまま水またはお湯にてお召し上がりください。	
	10	山本漢方のキダチアロエ粒100% ☆	山本漢方製薬(株)	本品は、栄養補助食品として、成人1日当たり、通常の食生活において、1日9粒を目安に、水又はお湯にてお召し上がりください。	
	11	アロエマイルド	ユリカ(株)	高付加価値栄養補助食品として1日15～20粒を目安として数回に分けて水またはぬるま湯でお召し上がりください。なお便がすぎる方の召し上がり方は1日5粒を目安にしてください。	
飲	12	キダチアロエ原液100	(株)ウエルネスジャパン	よく振ってから添付のカップ(25cc～30cc)で1日1杯～2杯を目安にお飲み頂くのがよろしいかと思います。又、ストレートで飲みづらい場合は水又は果汁飲料等で薄めてお召し上がり下さい。	
	13	キリン 四万十キダチアロエ	キリン ウェルフーズ(株)	清涼飲料水として、1日当たり20～40mlを目安に、そのまま、あるいは水等で薄めてお召し上がりください。	
	14	キダチアロエエキス	(株)ケイセイ	1日15～40ml(添付のカップ1杯約30ml)を目安にお召し上がりください。そのままストレートで飲まれるかジュースで割って、また、アルコールにもご利用いただけます。	
	15	キダチアロエ ファインエキス	(株)平田農園	そのままストレートで… ジュースで割って… アルコールにも… 1日15～40ml(添付のカップ1杯約30ml)を目安にお召し上がりください。	
	16	アロエエキスロイヤル	マンナンフーズ(株)	通常の食事の補助として、1日15～40ml程度を目安に、そのままお召し上がりになるか、3～4倍に薄めて、ハチミツ、果汁などと一緒にお召し上がりください。よく振ってからお召し上がりください。	
	17	新鮮生葉一番搾り	メイワ薬粧(株)	本品は清涼飲料水ですので、お飲みいただく量などに特別な定めはありませんが、通常の食生活からみて、1日あたり30ml程度をお召し上がり下さい。(添付のカップ1杯が約30mlです。) ハチミツ、ジュース等を加えてお飲みいただいてもおいしくお召し上がりいただけます。	
	料	～ア 参 考 工 品 ベ ～ラ	18	新鮮搾り アロエベラドリンク	オリヒロ(株)
19			アロエベラ・ゲル100	(株)コーワリミテッド	1回分として約50ccを1日1～2回の目安で食間などにお飲み下さい。冷やすと美味しく召し上がれます。
20			アロエベラ	(株)ディーエイチシー	1日あたり、付属のキャップ1～2杯を目安にお召し上がりください。口あたりのさわやかな味わいですので、原液のままでも、水で割ったり蜂蜜や果汁を加えてもおいしくお召し上がりいただけます。

☆：2005年7月現在販売されている商品では使用方法の表示が変更されている。

<title>キダチアロエを使った「健康食品」一下剂成分を中心にー（全文） </title>